

第2回

2nd Winter Dental Meeting in Tsu
ウィンターデンタルミーティング in 津主催:WDMiT実行委員会 日時:令和3年12月5日(日)10:00~(9:30 開場)
会場:アストプラザ 4F メイン会場:アストホール

●一般演題

▶10:00~10:35 【座長:佐藤 忠】

- 1.下顎に生じた歯原性粘液線維腫の1例
三重大学大学院医学系研究科 口腔顎顔面外科学
○加納 慶子、小泉 岳、濱口 桂、杉本 遼介、
山田 梨奈、奥村 健哉
- 2.顎関節周囲に炎症が波及し開口障害を生じた
流行性耳下腺炎の1例
紀南病院組合立 紀南病院 歯科口腔外科
三重大学大学院臨床医学系講座 口腔・顎顔面外科学分野
○堀 晃二、乾 眞登可
- 3.特異な口腔内所見を呈した多発性骨髄腫の1例
戸田歯科医院 ○戸田 喜之

▶10:35~11:10 【座長:黒原 一人】

- 4.リンパ節ストローマ細胞
Follicular dendritic cellによるレチノイン酸を
介したIgA 抗体制御機序の解明への試み
三重大学大学院医学系研究科 幹細胞発生学分野
○國石(彦坂) 茉里、磯野 加奈、山崎 英俊
- 5.エナメル質形成不全マウス(Amelx^{tdT})及び
象牙質形成不全マウス(Dspp^{GFP/GFP})を用いた
エナメル質及び象牙質の構造解析の試み
三重大学大学院医学系研究科 幹細胞発生学分野
○磯野 加奈、國石(彦坂) 茉里、山崎 英俊
- 6.下顎骨骨折に対する
SMART Lock Hybrid MMFの使用経験
国立病院機構三重中央医療センター 歯科・歯科口腔外科¹⁾
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 歯科口腔外科²⁾
○若林 宏紀¹⁾、加藤 英治²⁾、奥田 悠大¹⁾、乾 眞登可¹⁾、
柳瀬 成章¹⁾

▶11:10~11:55 【座長:鈴木 晶博】

- 7.咬合高径の低下した症例に対し咬合拳上と
咬合再構成を行い咀嚼機能および審美性を
回復した症例
カワラダ歯科・口腔外科¹⁾ 諏訪歯科診療所²⁾
(株)KKデンタルサービス³⁾
○諏訪 若子¹⁾、川原田 幸司¹⁾、川原田 幸三¹⁾、
諏訪 裕彦²⁾、山口 久和³⁾、山口 峰央³⁾
- 8.う蝕にも悩まされた
広汎型重度慢性歯周炎の1症例
医療法人尚志会 林歯科医院 ○林 尚史、森田 寛
- 9.根未完成歯の移植における考え方
津歯科医師会 学術委員会 ○宮崎 隆浩

10.咬合と舌位との関係について

津歯科医師会 学術委員会 ○内原 達仁

▶11:55~13:00 昼食休憩

●特別講演

▶13:00~14:00 【座長:新井 直也】

「環境・保健問題と国連持続可能な開発目標(SDGs)
~国連気候変動枠組条約第26回締約国会議
(COP26;グラスゴー会議)報告~」
講演者:朴 恵淑先生

●一般演題

▶14:30~15:05 【座長:松本 由美】

- 11.桑名地域の口腔外科の現状と課題
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
歯科口腔外科
○加藤 英治、古島 夏子、森 裕美子、大塩 美佐絵、
中山 菜緒、福田 奈央、山中 紗衣
- 12.三重病院での医療的ケア児・者の歯科診療
国立病院機構 三重病院 歯科口腔外科
○松村 佳彦、堀 琴雅、山本 葉月、金城 優
- 13.矯正歯科における歯科衛生士の新しい役割
津のまち矯正歯科
○北嶋 風花、阪本 成美、玉泉 春佳、花尻 奈都代、
小林 由佳、鈴木 悠華、酒井 瑠依、酒井 璃音、
佐藤 佳見、佐藤 忠

●教育講演

▶15:15~16:15 【座長:福森 哲也】

「人生100年時代における歯科医療と
歯科衛生士への期待」
講演者:藤田 剛先生、長谷 由紀子先生

●一般演題

▶16:25~16:45 【座長:柳瀬 成章】

- 14.全身麻酔手術患者に対する
歯牙保護床の有用性の検討
伊勢赤十字病院 歯科口腔外科
○山口 薫、中村 真之介、岩本 哲也、河辺 雅紀、
野村 城二
- 15.経口ビスホスホネート製剤による
BRONJ発生率の文献的検討
三重大学大学院医学系研究科 口腔顎顔面外科学
○新井 直也

【特別講演】【13:00～14:00】

『環境・保健問題と国連持続可能な開発目標（SDGs） ～国連気候変動枠組条約第26回締約国会議 （COP26; グラスゴー会議）報告～』

講演者：朴 恵淑 先生

三重大学 特命副学長（環境・SDGs）

WHO アジア・太平洋環境保健センター（WHOACE）所長

講演内容 -----

「誰一人取り残さない」を大命題とする、2030年までに全世界の全てのステークホルダーとのパートナーシップで取り組む、国連持続可能な開発目標（SDGs）の意義、三重大学・三重県・日本・世界の動向について考えます。

また、10月31日から11月13日まで、イギリス・グラスゴーで開催された、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26; グラスゴー会議）の参加報告を行い、世界のトップランナーとなるための戦略的取組を考えます。

【教育講演】【15:15～16:15】

「人生100年時代における歯科医療と歯科衛生士への期待」

講演者：藤田 剛 先生 医療法人社団藤田歯科 理事長 / 広島大学歯学部 客員教授

長谷 由紀子 先生 静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科 准教授

講演内容 -----

人生100年時代と呼ばれる超高齢社会において、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」が大きな課題としてクローズアップされている。歯周病はいろいろな疾患との関連が報告されていることから、歯周病治療・予防を行うことで全身の健康に大きく貢献できることもよく知られている。

本講演では、超高齢化社会に対して、歯科医療、特に歯科衛生士からどのようなアプローチができるのかについて検討したい。高齢化、複雑化する日本において、現在、そしてこれからのプロフェッショナルとしての歯科衛生士の在り方を考える機会となれば幸いである。

演者の先生方へ

- ・ 発表形式：スライド単写、横スライドのみ、枚数制限なし。
- ・ Microsoft office 365 PowerPoint を用います。
- ・ 口演時間7分、質疑応答3分
- ・ 本大会の抄録は三重医学会雑誌に掲載致します。三重医学会雑誌の投稿規定に沿う必要があるため、500字以内の抄録を右記のメールアドレス（skasumi@clin.medic.mie-u.ac.jp）まで送付してください。
- ・ 抄録原稿はA4判白紙（20字×20行）に1枚目には演題番号、演題名、所属、氏名（筆頭演者に○）を、2枚目に内容抄録を書いて下さい。

